

福井県地すべり防止施設長寿命化計画
(農林水産省所管)

福井県 農林水産部 農村振興課

目 次

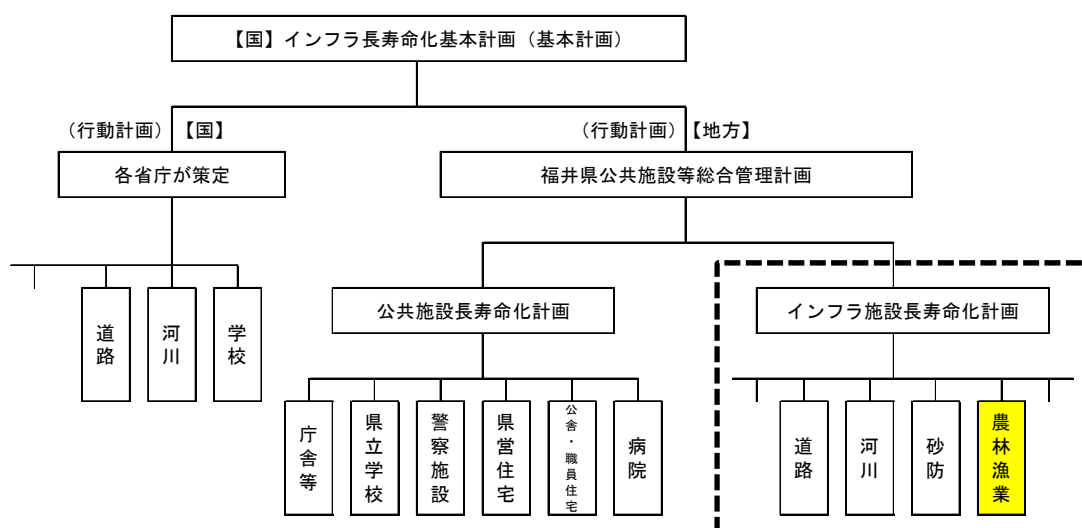
I	計画の位置付け等	1
1	策定の目的	1
2	対象施設	1
3	計画期間	2
II	現状と課題	3
1	現状	3
2	課題	3
III	対策の方針	4
1	基本的な考え方	4
IV	対策の内容	5
1	長寿命化対策の推進	5

I 計画の位置付け等

1 策定の目的

この計画は、国が平成25年度に策定した「インフラ長寿命化基本計画」および県が平成27年度に策定した「福井県公共施設等総合管理計画」に基づき、施設類型ごとの具体の対応方針を定める長寿命化計画（個別施設計画）である。

予防保全的な維持管理や計画的な修繕等を効果的に実施し、利用者の安全・安心を確保するとともに、施設の長寿命化を推進し、ライフサイクルコストの縮減や費用の平準化を図る。



図－1 計画の位置づけ

2 対象施設

福井県（農村振興課）では農林水産省所管の地すべり防止施設を管理している。本計画の対象は、7区域の地すべり防止施設として整備してきた17地区の抑制工や抑制工などの施設を対象とする。

表－1 地すべり防止施設一覧表（農林水産省所管）

No.	地すべり防止区域名	事業地区名
1	鎌倉	鎌倉 鎌倉2期 鎌倉3期
2	下	下 下第2 下3期
3	小和田	小和田 小和田2期
4	神野	神野 神野2期
5	中山	中山 中山第2 中山3期
6	高野	高野 高野第2 高野3期
7	梨子ヶ平	梨子ヶ平
合計	7区域	17地区

※対象施設については、その後の事情変化等により適宜見直す。

3 計画期間

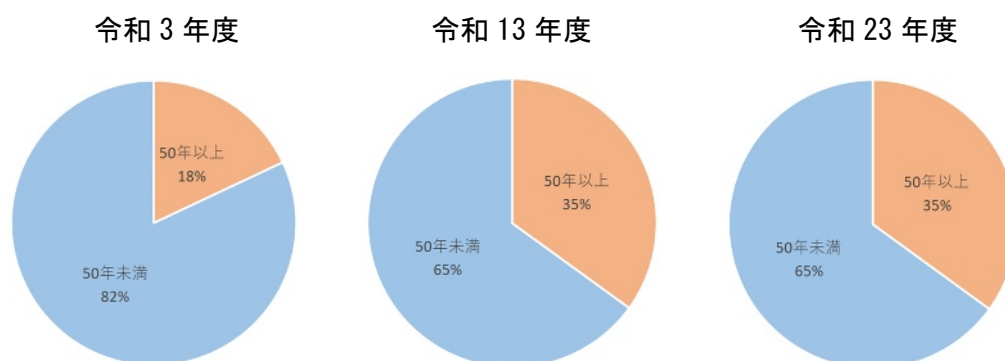
本計画における計画期間は、計画策定年度から10年間とする。

なお、計画期間内にあっても、各対象施設の状態は、経年劣化等によって時々刻々と変化することから、本計画は適宜見直すものとする。

Ⅱ 現状と課題

1 現状

今回対象とする地すべり防止施設で、整備後50年を経過する施設の割合は約18%である。20年後には約35%と増加することが見込まれ、今後これらの施設の老朽化に対応する更新・修繕費が増大することが懸念される。



図－2 50年以上経過する地すべり防止施設の割合

2 課題

急速に老朽化が進む一方で維持管理、更新・修繕に充当できる財源には限りがあり、地すべり防止機能を安定かつ効率的に確保していくためには、施設の老朽化状況、必要性等を総合的に勘案し、計画的に維持管理をしていくことが必要である。

Ⅲ 対策の方針

1 基本的な考え方

(1) 点検に基づく健全度評価の実施

- 日常的な巡視・パトロールによる日常点検に加え、定期的な点検・診断を実施し、施設の変状や機能喪失を把握するための健全度評価を4段階（a～d）で行う。

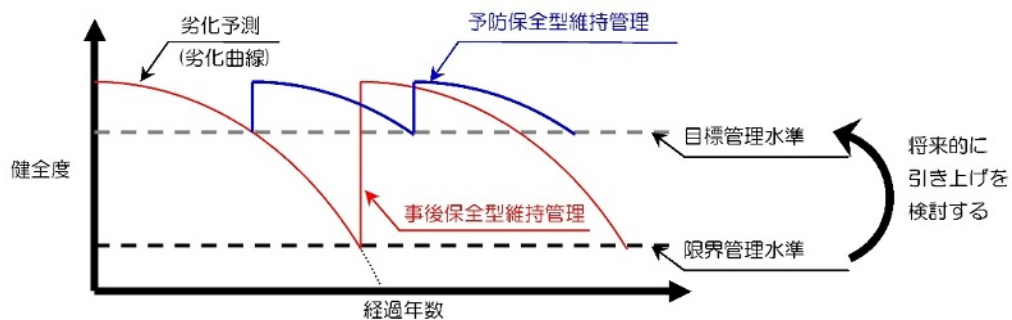
表－2 健全度指標における施設の状態

健全度指標	施設の状態
a. 問題なし	変状が認められないか軽微である状態
b. 監視	変状はあるが機能は維持されている状態
c. 軽微な補修	機能低下しているが容易に回復できる状態
d. 補修・補強・改修・更新	明らかに機能が低下または喪失した状態

出典：「地すべり防止施設の個別施設計画（長寿命化計画）策定の手引き（平成29年3月）」P13

(2) 健全度評価や優先度を踏まえた維持管理の実施

- 現状で、地すべり防止施設が現時点で発揮している機能（もしくは機能低下の程度）の正確な評価と劣化の進行の予測は困難を伴うことから、当面は事後保全型管理を中心として維持管理を行う。
- 健全度評価の結果に加え、施設の状況等を総合的に勘案した優先度に基づき、修繕等の実施時期を決定する。
- 今後、機能診断データ等を蓄積して、将来的には計画的な維持管理を行い、予防保全型管理を目指す。



出典：「地すべり防止施設の機能保全の手引き（平成29年3月）」PI-9

図－3 予防保全型の維持管理の概念図

IV 対策の内容

1 長寿命化対策の推進

地すべり防止施設ごとに策定した長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの低減に向けた長寿命化対策の実施を推進する。

なお、地すべりの兆候が確認された場合は、長寿命化計画における対策を検討するのではなく、地すべり機構を把握した上で別途必要な地すべり対策を行う。

表－3 機能の喪失や機能低下に着目した異常事象の例

施設の種類	具体的な異常事象の例	
抑制工	地表水排除工	水路の破損（著しい漏水等）
	地下水排除工	集・排水ポーリング孔の閉塞（集水井の異常湛水や日詰まり物質の付着等）
	侵食防止工	地盤変状（基礎の洗掘や著しい土砂移動等）
	斜面改良工	地盤変状（法面崩壊や多量の湧水等）
抑止工	アンカー工	アンカー頭部の損傷（頭部工の飛び出し等）
	杭工	地盤変状（杭谷側の崩壊等）
	擁壁工	擁壁の変位（明らかな押出しや傾倒等）

出典：「地すべり防止施設の個別施設計画（長寿命化計画）策定の手引き（平成29年3月）」P13